



地域エンバネット・大津稲刈 (築地プロジェクト)  
高齢者の方を対象とした受講生企画の「スマホデビュー講座」の開催を目指しています

2021.9.10発行

発行元  
龍谷大学  
社会共生実習支援室

〒520-2194  
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5  
龍谷大学瀬田キャンパス内  
社会共生実習支援室  
TEL:077-544-7230  
FAX:077-543-7615  
E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

## 夏期オープンキャンパスにて活動報告をおこないました

### 8月7日(土)「雑創の森プレイスクールプレイワーカー」(久保プロジェクト)

受講生たちは工作や川遊び、鬼ごっこなど子どもたちのやりたいことに合わせながら寄り添って活動していますが、初めは、どのように遊べばいいかわからず、困ったこともあったようです。そのような時には、協会のリーダーたちの対応から学び、最近では「遊び方」にも幅が出てきたとのことでした。

### 8月7日(土)「大学は社会共生に何ができるのかー文化財から“マネー”を創出するー」(高田プロジェクト)

フィールドワークで西教寺や曳山博物館に行った時の様子を受講生たちでまとめたスライドを流し、説明を織り交ぜながら前期に取り組んだ事例を紹介しました。「受講理由」や「受講して身についたこと」などの具体的な話もなされ来場した高校生たちからは熱心に耳を傾けている様子が伺えました。アンケートに「フィールドワークが楽しそう」「実習に惹かれた」などの意見もあり、興味を持っていただけたように思います。

### 8月8日(日)「自治体をPRしてみる!」(岸本プロジェクト)

担当教員が「PRする」とはどのような事なのか、実際に学生が過去に作成した動画作品も紹介しながら、わかりやすく説明しました。「PRとは自分が伝えたいことを伝えるのではなく、聞いてくれる人が聞きたいことを伝えることが大切であり、多くの人はそのことを頭では理解していても実際に作成するのは難しい」との内容が印象的でした。来場した高校生からは「面白かった。(学生の作品を観て)学生生活のイメージが少し湧いた」との声を聞くことができました。

### 8月8日(日)「子どもにやさしいまち」を作ろう」(田村プロジェクト)

受講生たちが「龍大生と学ぶ子どもの権利」というテーマで発表をしました。来場した方には、学生が作成した「事例が権利に違反しているかどうか」を問うオンラインアンケートに回答いただき、そのデータも報告しながら、実際に権利の何条目に違反しているのかを丁寧に説明していきました。発表後におこなったアンケートには「大人がもつ権利のことを考える機会があっても、子どもの権利のことを考えたことが無かったので、考えさせられる機会だった」などの意見がありました。



## 障がいをもつ子どもたちの放課後支援

障がいをもつ子どもたちの放課後支援(担当教員:土田美世子)では、障害をもつ子どもとの具体的な関わり方や放課後支援の意義を実習先である「放課後等デイサービスゆにこ」の関係者の方々から学びました。

6月11日(金)には「Y&C株式会社放課後デイサービスゆにこ」の社長 増田裕介氏をお招きし、個別支援計画に基づく「ゆにこ」の支援について講義を受けました。子どもの世界を広げようとする「ゆにこ」の支援と、子どもを少しでも危険から守りたい保護者の想いとが、時には異なることなど、実習に向けて受講生たちも具体的なイメージをもつことができる機会となりました。「学生としてどこまで踏み込んでいいのか」といった不安の声も受講生から聞かれましたが、増田氏から「せつかくなので良いと思うことはやってみて」と背中を押していただき、実習が楽しみな様子でした。

7月9日(金)には「放課後等デイサービスゆにこ」を利用されている子どもの保護者の方に、妊娠期からこれまで家族として子どもをどのように見守ってこられたか等、お話しいただきました。受講生からの様々な質問と共に「障がいをもつ子どもをそだてることは、大変だけれども素敵なことでもあることが分かった」と、率直な感想も聞くことができました。

受講生たちは、講話で感じたことと合わせて実際に子どもたちと触れ合い、多くの事を学んだ様子でした。



# 受講生インタビュー

- ①あなたの「おうち時間」を教えてください。
- ②このプロジェクトに入ったきっかけは？(受講1年目の学生さん)
- ③このプロジェクトを続けようと思った理由は？(受講2年目の学生さん)
- ④現在、このプロジェクトでどのような授業を受けていますか？
- ⑤実際に経験をしてみてどうですか？
- ⑥何が身につきましたか？
- ⑦「社会共生実習」での今後の目標やチャレンジしたいことは？



土田プロジェクト  
社会学科 3年生  
國定 菜月さん

- ①映画と音楽鑑賞。小説など(重松清、さくらももこ、吉田戦車)を読むこと。
- ②自分から積極的にコミュニケーションをとって相手に合わせる振る舞いが出来るようになればいいと思い参加した。
- ③週に1度、障がい支援施設「ゆにこ」に通って、障害をもっているおさんと係わっている。
- ④実習先では一喜一憂している、自分から積極的に行動が出来たようになった。
- ⑤障がいをもっているもっていないにかかわらず人と上手く係わっていくためにはその人その人に合わせて振る舞いをしていきたいと思った。



坂本プロジェクト  
CM学科 4年生  
吉田 あすかさん

- ①録画したドラマを観ている。
- ②福祉と農業が連携と記載されていたので、一見関係なさそうな2つがどうやって連携するのかに興味があった。
- ③実習に行けない時は学内で野菜を育てている。実習先では長靴を履いて野菜の枝を切ったり害虫駆除をしている。
- ④⑤⑥楽しい。学内で野菜を育てている時はこの経験が実習先に活かせると思っている。実習先では障がいをもった方との接し方は感覚や第六感で繋がることも大切と聞いたので色んな方向から考える力が見つけれたらいいなと思った。
- ⑦農業と福祉の連携の結果が分かるように勉強していきたい。

- ①コーヒーを淹れる事と料理
- ②授業を受けていた岸本先生から新しく実習を開くという話を聞いて自分は結構パソコンをいじるのが好きなので自分の興味がある範囲でやれる実習があるというので参加しようと思った。
- ③撮影や編集のスキルを学び自分で自己PR動画の作成と編集をした。オンラインで自治体の方とプレインストミーングをしたり門真市の市長にお会いした。
- ④他の学科の学生と係わったことが大きい。具体的なスキルを身に付ける事が出来て自分の出来ることが増え自信にも繋がっている。
- ⑤取材先の方とのコミュニケーションをどうしていくか、どうネタを切り抜いたら面白いのかという所はこれからもさらに伸ばしていけるスキルのかなと思う。
- ⑥面白いと思ってもらえる自己PR動画を作ること。



岸本プロジェクト  
現代福祉学科 4年生  
木村 きららさん



沼田プロジェクト  
現代福祉学科 2年生  
八幡 大斗さん

- ①4.8kmのランニング
- ②人と人との関係性やコミュニティに興味、関心を寄せていたところこのプロジェクトを発見し受講した。
- ③先生や連携先の方の話を聞いて少人数に分かれてディスカッションをしている。また、実際に実地に赴き地域の課題や特徴を体感しに行った。
- ④ほかの授業よりも自由度が高いため、積極性の求められる授業だと感じた。そのため何かを成し遂げたときのやりがい大きいと思った。
- ⑤みんなでディスカッションなどをする中で協調して物事に取り組む大切さや楽しさを学んだ。
- ⑥自分の考えをわかりやすく伝える力、説得力を身に付けたい。また、このプロジェクトが少しでも地域に貢献できたらいいなと思っている。



高松プロジェクト  
社会学科 3年生  
榎井 渚さん

- ①TVerでテレビドラマ鑑賞(大豆田とわ子と三人の元夫、ハコヅメ、ナイト・ドクター)
- ②昨年は企画はしたが実施が出来なかったため、今年は実現したいと思った。
- ③昨年は高齢者の方とのツアーを企画していたがコロナで実現できなかった。今年は、昨年考えたツアー内容をもっと良いものに練り上げて実践したい。ツアーの後は時間をかけて報告書を書きたい。
- ④技術面では、スマホのアプリで簡単な動画編集が出来るようになった。
- ⑤精神的な面では、難しい話し合いの時にどうやってみんなの意見を取り入れてまとめるのかを考えるようになった。
- ⑥旅行会社や病院や介護施設のパンフレットを見比べながら、良いところを掻き合わせたパンフレットや広告を作りたい。



田村プロジェクト  
CM学科 3年生  
木村 美沙さん

- ①愛犬と過ごす
- ②入学以前から子どもと係わる実習がしたいなと思ってたのがきっかけ。
- ③小中学生向けの「子どもの権利について学ぶワークショップ」の準備をしている。2年前のワークショップを利用して、そこで出た改善点とか今回コロナの関係でオンラインになったけど対面と同様な効果が得られるような改善をしている。
- ④子どもと係わる機会は少ないけれど、子どもの役に立っているという感じがして充実している。
- ⑤子どもに関する知識が身についた。
- ⑥子どもの視点で考えるのが大切というのを学んだのでワークショップで活かせるらしいと思う。
- ⑦ワークショップを開催させること。実習先で子どもたち楽しんでもらえるような存在になればいいと思う。



高田プロジェクト  
現代福祉学科 3年生  
大塚 勇輝さん



川中プロジェクト  
現代福祉学科 2年生  
関 菜奈加さん

- ①公務員試験の講座の勉強やYouTubeで大谷翔平選手のホームランの一覧やゲーム中継を見ている。
- ②「まちづくり大津」の関係者の方々と一緒に「大津をより良くしていく」ことに興味を持ち1年では出来なかったことを2年でやりたかったので続けてみようかと思った。
- ③1年生はフィールドワーク。2・3年生はフィールドワークの経験を活かして「まちづくり大津」の旧大津公会堂の活用方法を考えている。
- ④フィールドワークで実際に現地へ行ったときに「町の強み」や「こういう風にしたらいいのではないか」という視点は培われてきたと思う。礼儀や言葉遣いも学べた。
- ⑤「まちづくり大津」という大きなところに参加させていて目に見えた実績が作れたらいいなと思う。

- ①色々な楽器を弾いている(ギター、ピアノ、ドラム、バイオリン)
- ②昨年の川中先生の授業で私になかった考え方をいろいろな視点から発見できたので、川中先生の考えをもっと知りたいと思った。「多文化共生」を考えるきっかけ、お互いを尊重しあうきっかけがあればいいなと思った。
- ③事前学習では在日韓国人の方が抱える課題を自分たちで調べている。更に、オンラインで関係者の方から詳しい話を聞き、理解を深めている。
- ④発見が多い。他の受講生や教員からの自分とは違う考えや新しい発見の連続で、楽しい。
- ⑤日本人として住んでいると当たり前のことでも、そうではない方がいるという新しい視点を持つことができた。知らないことだらけだということも実感した。
- ⑥問題を「そんなんや」で終わらせるのではなくその先に私たちはどうしていかなければいけないのかという所まで見れるようになっていきたいなと思う。



築地プロジェクト  
社会学科 3年生  
北村 詩歩さん

- ①就職活動とAmazonプライムで映画やアニメ鑑賞(進撃の巨人、鬼滅の刃、呪術廻戦)
- ②昨年はコロナで何も行動に移せないまま計画で終わり不完全燃焼だったのでもう1年続けようと思った。
- ③高齢者の方に向けて、スマホやパソコンなどのIT技術の無料の講習会を秋ごろに開けるように、協力してくださる方へのアポイントを取るなどの活動をしている。
- ④自分からインタビューをしに行くようになり主体性が伸びたと思う。
- ⑤行動するのみ。悩むことも多いけどこの機会を無駄にせず何か行動に移して結果に繋げたい。



久保プロジェクト  
CM学科 3年生  
我如古 雅也さん

- ①就職活動や定期区間の場所を1人で出かけて気分転換をする。
- ②子どもたちから学ぶことも多く僕自身もまだ学びたいと思った。昨年はコロナの影響で実習を設ける機会が少なかったため今年こそ実習ができると思った。
- ③子どもたちと山の中に入って自然のものを使って遊ぶ「冒険」と子どもたちが使う道具のサポートをしたり物を作る「工作」をしている。
- ④⑤子どもたちが自分と同じ大学生になった時に遊んでもらった事を少しでも思い出してくれるような思い出をつけてあげられたらいいなと思う。今後は何かイベントが出来たらいいなと思う。

Webサイト・SNS では最新の情報を随時更新中♪



社会共生実習  
Webサイト



社会共生実習  
Twitter



社会共生実習  
Instagram



社会共生実習  
Facebook



エンパ  
Twitter



坂本プロジェクト外+α  
Facebook

誌面のアイデア募集!

- ・読んでみたい記事
  - ・知りたい情報 etc...
- ご意見・ご感想もお待ちしております。  
社会共生実習支援室までお寄せください。